様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月17日

静岡県知事　川勝　平太　殿

提出者

住　所　　静岡県賀茂郡松崎町那賀２２－１

氏　名　　花菱建設株式会社伊豆支店

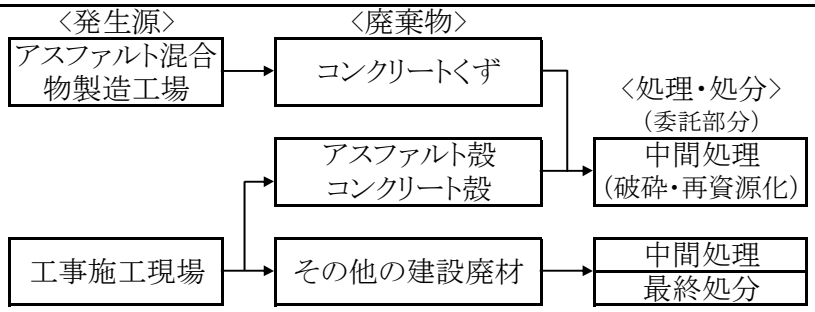
支店長　中田智一

電話番号　0558-42-0772

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	花菱建設株式会社伊豆支店
事業場の所在地	静岡県賀茂郡松崎町那賀22−1
計画期間	令和4年4月1日　～　令和5年3月31日

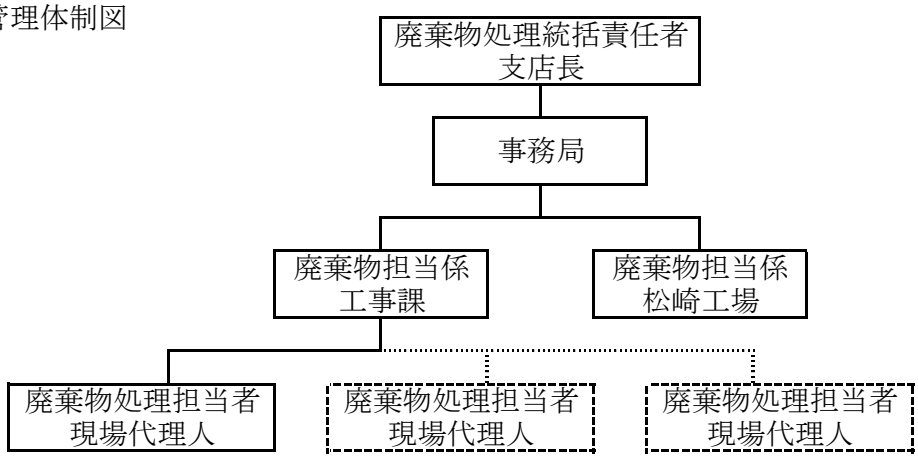
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業・舗装工事業
②事業の規模	227,009　（千円）
③従業員数	16　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和　3　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 構造物取壊し作業時に、廃棄物への土砂等の混入を出来るだけ少なくする。 ・ 搬入資材は、余剰材料が出来るだけ少なくなるよう、現場を精査し出荷数量を指示する。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 廃棄物発生量が少ない工法の情報収集に努め、工事発注者に対して廃棄物発生量の少ない工法の選択について提案する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ がれき類 ・ 工事施工現場において発生するがれき類には、土砂等の混入を出来るだけ避けるよう作業手順・施工方法を工夫し、廃棄物の量を少なくする。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 建設混合廃棄物 ・ 施工現場などで発生した混合廃棄物は、可能なかぎり種類毎に分別し廃棄物の量を出来るだけ少なくする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和　3　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該 当 な し		
	②計画	【目 標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 該 当 な し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和　3　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該 当 な し		
	②計画	【目 標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t
		（今後実施する予定の取組） 該 当 な し		

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　3　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該 当 な し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目 標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該 当 な し</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　3　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・　産業廃棄物を分別、減量、再資源化出来る中間処理業者に処理委託する。
・　産業廃棄物を適正に最終処分出来る処理業者に処理委託する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目 標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

当社が排出する産業廃棄物の大部分を占めるコンクリートがら・アスファルトがら等のがれき類は、すべて中間処理業者に処理委託し、再生土木資材として100％リサイクルされている。工事現場等から発生する建設混合廃棄物は、発生時にできるだけ種類毎分別し総量を少なくする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

（別紙）

【 前年度（令和　3　年度）実績及び今年度目標 】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃　棄　物　の　種　類		アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	コンクリートくず	安定型建設混合廃棄物
排　　出　　量	実績	1643.100　t	174.030　t	679.000　t	3.744　t
	目標	1500.000　t	150.000　t	600.000　t	2.000　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

廃　棄　物　の　種　類		アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	コンクリートくず	安定型建設混合廃棄物
全処理委託量	実績	1643.100　t	174.030　t	679.000　t	3.744　t
	目標	1500.000　t	150.000　t	600.000　t	2.000　t
優良認定処理業者への処理委　託　量	実績	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
	目標	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
再生利用業者への処理委託量	実績	1643.100　t	174.030　t	679.000　t	0.000　t
	目標	1500.000　t	150.000　t	600.000　t	0.000　t
認定熱回収業者への処理委託　量	実績	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
	目標	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	実績	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
	目標	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t

（別紙）

【 前年度（令和　3　年度）実績及び今年度目標 】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類		木くず			
排出量	実績	1.270　t			
	目標	0.000　t			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

廃棄物の種類		木くず			
全処理委託量	実績	1.270　t			
	目標	0.000　t			
優良認定処理業者への処理委託量	実績	0.000　t			
	目標	0.000　t			
再生利用業者への処理委託量	実績	1.270　t			
	目標	0.000　t			
認定熱回収業者への処理委託量	実績	0.000　t			
	目標	0.000　t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	実績	0.000　t			
	目標	0.000　t			